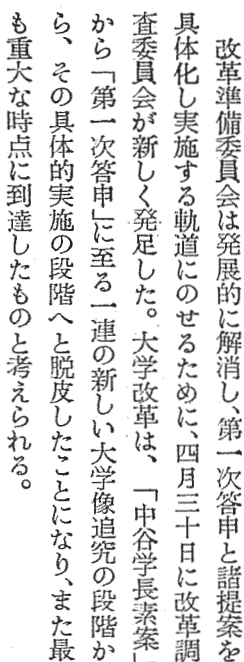


第 19 号
広報委員会発行



改革調査委員会が発足

改革準備委員会解散と 改革調査委員会発足の経過

大学改革調査
委員会風景

十五年四月、「第一次答申」が学長代行に提出された。その後、この第一次答申にもられた諸提案について教職員の見解調整が進められたが、広瀬学長代行の任期が昭和四十五年九月末までと定められていた事情も配慮された結果、第一次答申はこれを廃案としないで、今後も拙速を避けて徹底的に検討を進めることが確認され、特に学長選挙についてのみ最優先し

いわゆる大学改革は、紛争以前からその必要性が論じられ、個別的な課題について検討が行なわれていたものもあるが、総合的な見地から取組むべきとの全国的趨勢となつたのは、大学紛争が一つの契機をなしたことを否定できない。

本学においても、紛争時の中谷学長提案、明石学長事務代行所見を経て、昭和四十四年十一月、当時の広瀬学長代行のもとに設置された改革準備委員会において、そ

[illegible]

具体化への第一歩

學長 広瀬 捨三

以上のように
本学の建設的な
改革を推進する
レベルが数か
れ、その具体化
に向けての一步
だ。この間の経緯
諸君の理解を希望
する。新しい関西大学
重要な任務を帯び
た臨調調査委員会
を注視したい。

て、第一次審申の提案に準じて、暫定措置をもって行なわれなくてはならぬ。すなわち、従来の方法を改革して、事務職員、学生の間接参加を含む新しい方式による。同年九月学長選挙が実施された。こうして広瀬理学長が選出された。

広瀬学長就任後、紛争の余蘊とすべきものか、突発的な暴力事件の発生など学内情勢は必ずしも安定したのではなかったが、この間に於いても、大学改革のめざすところは集團の意見を要する懇談事項に向いて討議されていく。そのためには、第一次審申の取組と今後の改革の進め方に因ずる学部長私案である。この教務と長私案には、改革準備委員会と散、第一次審申の徹底的検討

改革調査委員会委員名

○教育職員

商学部教授 高堂 俊弥 ○事務職員

法学部教

安田 信一
社会学部事務室

11

嘉 康

23

社会学部 教授 杉原 弘人

2

学生部学生課

11

助 上 達
田 三
圖書館運営課

経済学部
教

工学部教授 松山 卓蔵
第二学部事務室

44

官名 第六

4

勝曰勝大良 二 三 音 義 三

Journal of Interpersonal Violence 28(12)

Downloaded from <http://ajphaphysocpharm.sagepub.com> at 10:06 11 November 2014

5項目を基本に 分科会設け実質的検討

革問題の今後の検討の進め方およびその方法として改革調査委員会（仮称）の設置などの提案がなされている。

これらはいずれも、大学改革を進める上においての根本的かつ重要なプログラムであることは輿論のなごみであり、以後この提案を踏み台にして、それぞれの機関を通じて教職員の間意統一の努力が重ねられ、「教育学部長松本修正案」、「大学改革の進め方に関する学部長会提案」など建設的な討論の過程を経て、本年四月七

すなわち、①改革準備委員会は、次の段階の新しい委員会発足日の時点で解散させる。②第一次當選はこれを廃案とし、以後も拙速を避けて徹底的に検討を進めるとの全学的了解を再確認する。③今後の検討の進め方として、短期に処理されるべき事項であるいは長期の検討に付されるべき事項とどのような画一的区別を設けることは困難であるが、もっとも短期的な処理事項について、長期的展望を配慮しつつ検討を進める。④その機関として改革調査委

すなわち、①改革準備委員会は、次の段階の新しい委員会発足の時点で解散させる。②第一次審判はこれを廃案としないで、今後とも拙速を避けて徹底的に検討を進めるとの全学的了解を再確認する。③今後の検討の進め方として、短期に処理されるべき事項あるいは長期の検討に付されるべき事項という二つの画一的区別を設けることは困難であるが、もっとも短期的な処理事項について、長期的展望を配慮しつつ検討を進める。④この機関として改革調査委員会を設置し、これを学長の諮問機関と性格づけ、各学部三名の教員職員および六名の事務職員、計二十四名をもって構成する。⑤委員長から得た審判の取扱ひについては、学内の意見調整を充分行ったのち、心要に応じて学生に提示し、さらに検討を重ねたうえ実行に移す手続を進める。

これらの事項が今後の検討を進める上での基本となる。いわゆる理念的な検討に終始することのないように、学長が委員会に諮問する検討課題には、具体的な検討事項と審判期限を付することにしている。

以上のような経過をたどり、こ

教育の基本的問題についての四つの事項である。委員会はこれを受けて、諮問事項に応じて四つの方針を立てられ、五月早々から審判期限を目標に実質的検討が胎動するようになった。

関西大学将来の大計を担つべきこの改革調査委員会に、われわれは大きな期待を寄せ、その活動を見守りたい。

公書問題が依然として社会面をにぎわしている。文明の進歩のためには止むを得ないと諦めていた一般大衆も、公書の充満する生活環境の中では我慢できなくなつたに違いない。こうした社会的な動きの中で、各企業は根本的な企業体質の変革を迫られている。

公書で糾弾されている企業がすべて悪意から出発したとは思えない。自動車を発明した人は、これまで自動車が走る凶器となり、排気ガスを撒き散らすものとは思っていなかったにちがいない。しかし、動機はつづかれ、文明の生み

千里眼

(Illustration of a person with glasses looking forward)

選出されて、政事調査委員会が充足し、四月三十日に第一回委員会が開催された。社会学部の広田君から具體的検討事項(答申期限、本年八月末)を付した第一次諮問事項の検討が付託された。諮問事項は、①入学試験制度の改善について、②一般教育等の改善について、③学生の厚生補導に関する組織とその運営について、④第二部

公害の中でもとくに深刻なのは生物学的な公害だといわれている。ある害虫を駆除するのに強力な殺虫剤を撒いたところ、益虫やその害虫を食べて生きていた他の生物まで死んでしまい、死の世界になったという実例も報告されている。こうした生態学的なパランスの崩れは、短期間にもっと展ずることは出来ないという恐ろしさを

は農村に行っても畑やトンボを見かけることがすくなくなつた。われわれも死の世界への道を歩いているのではないかと思うと慄然とする。

大学で同じような生態学的バランスが必要なのであつた。教育の場、研究の場として大学がよい良い環境を保つためには、教育職員・事務職員・学生の三者が微妙なバランスを保つことが最低の必要条件であつた。大学改革案が着々と進行している現状から、ふとこんなことを感ずる。(〇)

一九二名

九
名

